



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 TEL25-4854/fax24-8204
ホームページ www.icp-isesaki.net/ メールアドレス sigidan@icp-isesaki.net

子どもの貧困なくして、子育てしやすいまちづくり市政を

8月31日から9月30日まで定例市議会が開催され、本会議で一般会計決算総括質疑等を北島議員が、一般質問等を長谷田議員が行いました。

お粗末な
子どもの貧困対策

片親世帯や、非正規雇用の増加により、6人に1人の子どもが貧困と言われています。給食費や修学旅行費など支払いに困って

いる世帯に、就学援助が助成されています。

全国では15%の児童・生徒がこの支給を受けていますが、群馬県は6パーセント台と最低クラス。その中でも伊勢崎市は12市で一番低い支給率です。これまでに制度を知らせず受けさせずの対応を行ってきたからです。

貧困の連鎖を生まないためにも、制度案内や、支給

就学援助受給率

	小学生	中学生
伊勢崎	3.31%	4.93%
前橋市	8.48%	12.18%
高崎市	—	—
桐生市	7.66%	9.36%
太田市	4.23%	5.85%
沼田市	5.11%	5.86%
館林市	4.43%	6.39%
渋川市	5.13%	6.35%
藤岡市	6.76%	9.06%
富岡市	4.72%	5.88%
安中市	6.43%	9.39%
みどり	5.76%	7.51%

高崎は県平均程度です。数字は公表しないでくれとのこと。

基準の改善を求め、教育長は必要な子どもに支援できるように改善を約束しました。

増の世帯が出ました。

新学期直前
通知

母子家庭などの非課税世帯へ負担を増やすのに、当事者の意見も聞かず説明もなしに、新学期一週間前に文章で通知しただけです。さじ加減で減らされる子育て支援は困ります。

ふるさと創生で人口増

と言うのなら、子育てをしてる世代に寄り添った支援こそ必要です。



戦争する国・NO!

党派・会派を超え、伊勢崎佐波の8人の議員が「戦争法は廃案に」と街頭宣伝を行い、たくさんの激励がありました。

「戦争法(安保法)の撤回を求める意見書」請願が総務委員会に出され、北島議員が紹介議員として説明。「安保法は必要だが内閣は説明不足、外交防衛は国の専管事項」と継続審議にされ、国民の声に耳をふさぐ態度でした。

市立児童クラブは、非課税世帯や多子世帯に保育料減免の制度があります。民間に通っている父母からの不公平という声を受けて、今年度から民間児童クラブでも保育料補助がスタートしました。財源は公立の減免を縮小し生み出し、年間6万円も負担

